

## 抗 CD40 抗体, マウス モノクローナル (5C3), ビオチン化

72-031 50  $\mu$ g (21,000 円)

送付温度は 4°C、保存は-20°C。-20°C以下に保存させて凍らせない。

反応特異性: ヒト

免疫原: CD40 の細胞外ドメインの組換え体タンパク質

用途:

1. フローサイトメトリー
2. 免疫細胞染色 (1/100)
3. 免疫組織化学 (1/100)

**形状:** ビオチン化した精製モノクローナル抗体 (IgG) 1mg/ml in PBS, 50% glycerol, 濾過滅菌 (アザイドやキャリアーは含まない)。

**アイソタイプ:** マウス IgG1 $\kappa$

**背景:** CD40 は分子量 45-50-kDa の糖タンパク質で、腫瘍壊死因子 (TNF)レセプター・スーパーファミリーの一員である。CD40 は B 細胞、ならびに樹状細胞やマクロファージなどの抗原提示細胞上に発現している。CD40 は T 細胞表面上に発現している CD40 ligand (CD154)と反応して体液性免疫および細胞性免疫反応に重要な働きをしている。B 細胞上で CD40 が CD40 ligand により活性化されると、B 細胞の増殖、分化、免疫グロブリンのクラススイッチ、胚中心形成や体液性免疫記憶反応の活性化などが起こる。CD40 は免疫および炎症反応に広く関与している。また CD40 は膜貫通型シグナル伝達因子として働き、細胞内 kinase や転写因子の活性化シグナルを伝達している。

ヒト CD40 に対するマウスモノクローナル抗体 (5C3) が作成された。無血清培地で培養されたハイブリドーマの培養液より独自のクロマト法などのマイルドな方法により、IgG を精製した。

データリンク: Swiss-Prot [P25942](#) (ヒト)

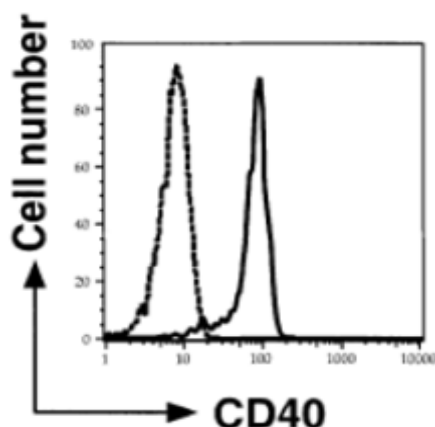


図 1. 樹状細胞表面に発現する CD40 の抗 CD40 抗体 (5C3) を用いたフローサイトメトリーによる解析。

健康な成人の網状細胞を抗 CD40 抗体 (実線) またはアイソタイプコントロール (破線) で染めた。

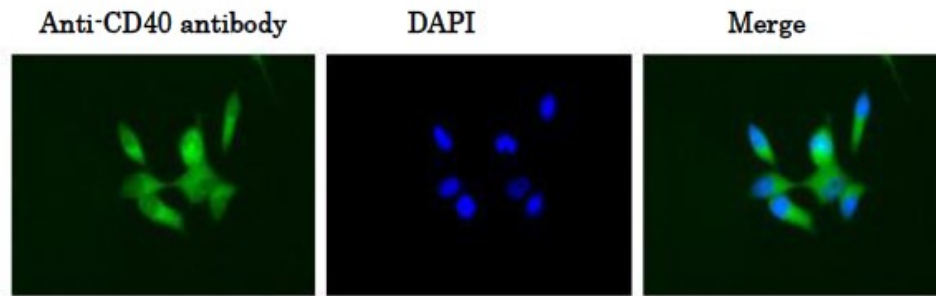


図2. 抗CD40抗体(5C3)を用いたMCF7細胞中のCD40の免疫蛍光染色像  
細胞は4% paraformaldehydeで固定し、0.25% Triton X-100で透過処理し、抗CD40抗体は1/100希釈で用いた。

文献: この抗体は以下の文献に用いられた。

1. Inui S *et al* (1990) "Identification of the intracytoplasmic region essential for signal transduction through a B cell activation molecule, CD40." *Eur J Immunol* **20**: 1747-1753  
PMID: [1698631](#) FC.
2. Yasui T *et al* (2002) "Dissection of B cell differentiation during primary immune responses in mice with altered CD40 signals." *Int Immunol* **14**: 319-329 PMID: [11867568](#)  
FC
3. Ishida I *et al* (2003) "Involvement of CD100, a lymphocyte semaphoring, in the activation of the human immune system via CD72: implications for the regulation of immune and inflammatory responses." *Int Immunol* **15**: 1027-1034 PMID: [12882840](#) FC,